

子どもたちがもっている個性を伸ばし、  
世界に羽ばたく人材を育成。

子どもたちがもっている個性を伸ばし、  
世界に羽ばたく人材を育成。

なるためには

- 必要資格 / 小学校教諭免許
- 主な進路 / 高校卒業→教職課程のある大学・短大・大学院に進学→小学校教諭免許を取得→採用試験に合格→小学校教諭



有間勇人さん(2000年生まれ)

浜松湖南高校出身

聖隸クリリストファー大学

社会福祉学部こども教育福祉学科卒業  
現・国際教育学部こども教育学科

### 聖隸クリリストファー小学校

浜松市北区三方原町3453

<http://www.seirei.ac.jp/elementary-school/>

### ー学生時代

「高校時代は普通すぎて特に語ることはないです…(笑)。のほほんと過ごしていました。小学校教諭は小学6年生のときからの目標です。もともと人に何かを教えるのが好きだったこともありますし、担任の先生からの『教員に向いてるよ』という言葉にも背中を押されました」

#### 大学時代について教えてください。

「小学校教諭免許を取得するために聖隸クリリストファー大学に進学しました。小学校教諭養成課程が新設されたことが大きいです。決められたレールに沿って学ぶのではなく、自分たちで学ぶ環境を作っていく

たい」という思いも強かったです。

大学では、今まで私が受けた教育

とは異なるIB教育(※)について

学ぶことができました。子どもたち

がもっている個性を伸ばして専門

分野に進んでいき、日本だけでなく

世界に羽ばたく人材を育成すると

いうIB教育に惹かれました。聖隸

クリリストファー大学の魅力は、2年

次から3年次まで長期間の小学校

インターナンシップがあること。4年

次の教育実習の下準備として、長期

的教育現場を体験しながら大学

の学びと結びつけられたので、実践

的な経験を積むことができました」

### ー仕事について

「大学での学びをいかして働きたいと思い、国際バカロレア教員資格を取得して、国際的な教育プログラムを実施している聖隸クリストファー小学校に就職しました」

ーやりがい

「子どもたちが全力で物事に取り組み、楽しんでいる姿を見たときにやりがいを感じます。多様な授業の進め方をする外国人の先生と一緒に働くなかで、自身の教育の世界が広

がつていることにもやりがいを感じます」

### ーやりがい

「子どもたちが全力で物事に取り組み、楽しんでいる姿を見たときにやりがいを感じます。多様な授業の進め方をする外国人の先生と一緒に働くなかで、自身の教育の世界が広がつていることにもやりがいを感じます」



### ーメッセージ

「教員をめざしている生徒は、理想の先生像をイメージしてオープンキャンパスに参加してみてください。学校の雰囲気やどのような教員を育成しようとしているかが伝わると思います。私は明確なビジョンがあったわけではありませんが、大学で学ぶなかで多様性を尊重していく現勤務校の理念に惹かれ、IB教育に携わりたいと思うようになりました。IB教育に興味をもった方、これらの時代に対応した、あたらしい教育を一緒につくっていきましょう」

「ありがとうございます」といいました。

18歳 小学校教諭免許を取得するため、聖隸クリリストファー大学に進学。

22歳 IB教育の理念に感銘を受ける。教員免許を取得し、聖隸クリリストファー小学校に就職。

23歳 子どもたちの興味関心から学びを生み出し、世界に羽ばたく人材を育成。



近藤 勇人

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



自転車を通じて日常を豊かに、つながりを大切に。



なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→工場に勤務→アメリカ・ポートランドへ→帰国後、自転車屋で勤務→独立し、自転車屋と餃子屋を開業

**伊藤幸祐** さん(1984年生まれ)

聖隸クリストファー高校 出身  
関東学院大学 理工学部卒業

### HAPPY&SLAPPY

浜松市天竜区二俣町二俣1-1271 伊藤ビル奥入ル3 ゴールデン街  
<https://happyslappy.jp/>

### —学生時代

「僕の実家が昔ながらの自転車屋さんだったので、日常に自転車がありました。小学3年から大学卒業までハーレーボークル部に所属していて、体育館まで自転車で行き来していました。それがきっかけで、本格的に自転車でいろんなところを走りに行くようになつたんです。街中を行くのも楽しかったですね」

### —仕事について

「工場に勤めていたときに東日本大震災が起きて、いつ何が起こるかわからないなど、恐怖心が芽生えました。自分で自分の身を守るために退職。ある雑誌で目にした自転車とアメリカ・ポートランドの特集が気になつて、1ヶ月ほどポートランドに滞在しました。現地で声をかけてくれる人たちみんな優しくて心地よくて、実家のようなあなたがさがあつて。漠然と、感謝の言葉を直接もらう仕事を就きたいと思うようになりました」

### 自転車屋を開いた経緯について教えてください。

「帰国後、名古屋にある自転車屋『Circles』で働きはじめました。そこで経験を積み、独立して自転車屋『HAPPY&SLAPPY』を開業しました。『餃子スラッピー』を隣にオーブンし、現在は飲食業も展開しています。『餃子スラッピー』では、浜松餃子をベースとした手づくみのこだわった餃子を提供しています」

「楽しい」と思うことを真剣にや



「自転車を通じて日常を豊かにする仕事をしています。販売とオーダーメイドで注文、修理をしています。取り扱っている自転車はママチャリからスポーツバイクまで幅広くあります。鉄のフレームをメインで扱っています。鉄だと乗り心地がよくて長持ちする。セルフビルトもしやすい。『あなたの足にはこれだよね』といつた感じで、その人の身の丈に合ったものを提案して、併せてルーツを伝えるようにしています」

### —やりがい

「お客様同士が友達になつて、『このいい坂をグーッと上つた先で会う人たちは100%優しくなる』といった報告をもらえるとうれしいです。自転車の魅力は、めっちゃくりもできて楽しいです。『餃子スラッピー』としては、シンプルに美味しいと言われるうれしいです」

ありがとうございました。



22歳

小学3年から大学卒業まで、ハーレーボークル部に所属。日常的に自転車に乗る。

27歳

東日本大震災を機に会社を退職。アメリカ・ポートランドへ。

33歳

地元に戻って自転車屋を開業。餃子屋を隣接する。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



り続けてみてください。石の上にも3年と言いますから。でも、それにしがみつかなくて、嫌だつたらやめればいい。僕は昔から突き詰めることが好きでした。部活動に励んでいたときは、『あの人はなんであんなにもバイクを決めるんだろう』とフォームを真似したり、餃子の研究をしていたときは、好きな餃子の具を1つひとつピンセンツで測つたり品質表示をチェックしたりしていました。どれも楽しいから続けています。今の時代、やろ

うと思えばなんでもできると思うですよ」

**軸にあるのは、日本の素晴らしいモノを  
海外に発信したいという思い。**

なるためには



**佐藤寛之**さん(1990年生まれ)

**清水東高校**出身  
**静岡大学**人文社会科学部卒業

### かわばた園

静岡市清水区小河内1869  
<https://www.kawabata-tea-farm.com/>

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→一般企業に就職→家業であるお茶農家を継ぐ

### ー学生時代

「野球がやりたくて清水東高校に入ったのですが、通学と部活で勉強する時間がまったくなく、成績が最下位クラスだったんです…。これ以上続けたら大学に行けないと思いつ、野球をやめて個人競技の陸上部に入りました。それからは勉強と部活の両立もできるようになり、高校卒業後は静岡大学に進学しました」

### 大学時代について教えてください。

「印象に残っているのはボランティア活動。国内外問わずいろいろな活動に参加しました。森林保護や東日本大震災、フィリピンの孤児院、インドに学校を建設するボランティアなどに参加しました。なんでも揃っている豊かな場所からちよつと移動すると、何にもない不自由な生活を送っている場所がある。その光景がショッキングでしたね。豊かな生活と豊かでない生活の違いはモノがあるかないかだと思い、日本でしかできないモノづくりに携わり、将来は豊かな生活を支える仕事がしたいと思うようになりました」

**ー仕事について**  
「大学卒業後は鉄鋼メーカーに就職したのですが、5年くらい働いたときに両親の衰えを感じ、自分が家業である農業を継ぐ決心をしました。

「日本の素晴らしいモノを海外に発信したい」という思いは、鉄からお茶に扱うモノが変わっただけで達成できています」

**お茶生産について教えてください。**  
「化学農薬や化学肥料を使わずに、お茶や日本酒くらいしかない



お茶などの農産物を生産しています。2月ごろから肥料を撒きはじめ、3月に刈りならしをして茶畠を整えます。4月半ばから3週間、茶葉を収穫して工場で加工してお店に並ぶ状態になります。夏場はずっと草刈りをして、10月が最後の収穫。

加工工程は、蒸して揉む工程が4回あつて、乾燥して異物除去をし、火入れをおこないます。栽培から製品にするまでの工程が難しいうえに正解がないので大変ですが、そのぶん挑戦する価値があると思っています」

**ーやりがい**  
「9割くらいが直売なので、『今年のお茶はおいしい!』『このお茶しかもう飲めない!』と、直接言つてもらえるとうれしいですね。基本的にはお客様さんを喰らせたいんですよ。豊かな生活に『食』って絶対に必要なモノだと思うので、私が生産したモノを通してみんなさんの生活を豊かにしていきたいですね」

**ー〆セージ**  
「最初から最後まで、原材料から食べてメイドインジャパンのモノつ



**18歳** 部活と勉強の両立を心がけ、高校卒業後、静岡大学に進学。

**27歳** 鉄鋼メーカーから家業であるお茶農家の道へ転身。

**32歳** 化学農薬や化学肥料を使わないお茶づくりにこだわり、日本の文化を海外に発信する。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



です。日本文化の柱だと思っている人も多いですね。日本文化を残していくという意味でもすごく意義のある仕事だと思います。パリ、ロンドン、ドイツのデュッセルドルフなどヨーロッパのほうがリーフを飲む習慣が多いので、コロナが明けたら生産者の私たちがその場でテイスティングできるような企画もしていきたいです。モノからコトの独自の色を出してお茶を飲むという体験にお金を出してもらえるような工夫もしていきたいです。この業界はのびしろしかないのです。頑張りがいがありますよ」

ありがとうございました。

**複合的な知識をもったエンジニアに。**



原和輝さん(1996年生まれ)

浜松市立高校出身  
金沢工業大学 工学部情報工学科卒業

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→プログラミング言語やネットワーク構築について学ぶ→エンジニア派遣サービスをおこなう企業に就職→システムエンジニア

――**仕事について**  
「金沢工業大学に進学し、C言語やJavaなどのプログラミング言語、ネットワーク構築について学びました。特に印象に残っているのは画像処理やコンピュータグラフィックスの授業。研究室を選んだのも、その授業を担当している教授の影響です。研究室ではプロジェクトマッピングをテーマにして、学園祭で作品を公開したことでも思い出に残っています。私は趣味が口々口変わるのに、いろんなことに挑戦できる環境で働きたいと思い、様々な業界にエンジニアを派遣するマイテックに就職しました」

――**やりがい**  
「開発に携わった製品が様々なメイニアで取り上げられたり、「ソフトウェアが進化した!」という記事を見たり、社会で評価を受けている様子を見るのがやりがいですね。今後は自動車に限らず、ほかの分野にも挑戦して新しい知識を身につけていきたいです」



18歳

22歳

26歳

ゲームが好きだったことやプログラミングに興味をもつたこともあり、金沢工業大学工学部情報工学科に進学。

プログラミングやネットワーク構築について学ぶ。

車載用ステレオカメラのソフト開発のマネジメントを担当。開発がスムーズに進む環境を整える。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>**――学生時代**

「高校の授業で簡単なホームページを作る機会があり、プログラム通りに画面が動くのを見てプログラミングに興味がわきました。進学先選びもそこを軸にして選びました。具体的にこういう仕事に就きたいというよりは、もっと深くプログラミングを学びたいという気持ちが強かったです。小学生のときからゲームが大好きだったことも影響しているかもしれませんね」

――**大学時代について教えてください。**  
「金沢工業大学に進学し、C言語やJavaなどのプログラミング言語、ネットワーク構築について学びました。特に印象に残っているのは画像処理やコンピュータグラフィックスの授業。研究室を選んだのも、その授業を担当している教授の影響です。研究室ではプロジェクトマッピングをテーマにして、学園祭で作品を公開したことでも思い出に残っています。私は趣味が口々口変わるのに、いろんなことに挑戦できる環境で働きたいと思い、様々な業界にエンジニアを派遣するマイテックに就職しました」

――**マネジメントの仕事について教えてください。**  
「たとえば、開発中に試験の不具合が発生したとき。その対策をするにあたり、いつまでに不具合事象をまとめて他部署へ報告をすればいいのか、車両の開発日程に合わせてどのようなデータを集約する必要があるなどを考えて全体の舵取りを行います。自分が想像していることと、相手の発言やメールの意味合いが違っていたりするので、質問をしたり詳細に確認をしたり認識のズレがないように心がけています」

――**メッセージ**  
「エンジニアをめざすなら、C言語やPythonなど、何かひとつの言語をマスターしておくと、ほかの言語とも互換性がうまれて知識を吸収しやすいですよ。プログラミングに挑戦すると言っても、何から手をつけていいのかわからないかもしれません。まずは普段の生活で囲っていることを自動化するなど、身近なものから挑戦してみてください。学生時代は、後悔をしないように今を全力で楽しむことが大事です。やり残したことがないように、いろいろなことに挑戦してください!」

人々の当たり前の生活を守ることが、  
社会インフラでもある物流の仕事。

なるためには



●必要資格 / 特になし  
●主な進路 / 高校卒業→大学に進学→物流事業を展開する企業に就職→港湾物流

影山駿介さん(1997年生まれ)

静岡聖光学院高校出身  
中央大学 法学部卒業

### 鈴与株式会社

静岡市清水区入船町11-1  
<https://www.suzuyo.co.jp/>

「高校時代の思い出はラグビーでした。監督がラグビー以外にも厳しい人だったので、勉強を含め私生活の面も成長することができたと思います。チームスポーツを通して『One for all, All for one』の精神を学び、貴重な仲間もできました。高校卒業後は、ラグビーを続けるため、中央大学に進学しました」

#### 大学時代について教えてください。

「より一層ラグビー漬けの生活。ただ大ケガをしてしまい、プレー時間がが多くありませんでした…。その分、チームを客観視したり、運営にまわったりする時間が増えました。最後の2年間は味方や相手チームの分析を。そのおかげで視野が広がったと思います。部員が100人くらいいるなかで『試合に勝つ』という共通の目標をどうすれば達成できるかも考えました。マネジメント面に携われたのも大きいですね。意識したのは、いつでもどこでも、とにかくコミュニケーションをとること。社会に出た今も役に立っています」

——仕事について

「大学卒業後は、物流を中心様々な事業を開拓する鈴与に就職しました。入社後、コンテナターミナル部に配属。現在は、国土交通省が推進しているコンテナを運搬するときに使用するRTG(タイヤ式門型クレーン)という機械を遠隔操作化する事業を担当しています。現在は人が乗り込んで作業をしているの

ありますが、日々の仕事です。社会に向けて、労働負担の軽減や事故防止、ヒューマンエラーを減らすために遠隔操作化を進めています。物流は、人々の生活になくてはならないもの。社会を支えるインフラでもあります。人々の当たり前の生活を守ることが私たちの仕事です」

#### 心がけていることは?

「まずは、事故を起こさないことです。どんな些細なことでも、現場からヒヤリハットの声を吸い上げるようにしています。そのためにも、普段から雑談レベルのことでもコミュニケーションをとるよう心がけています」

——やりがい

「現在、取り組んでいるRTGの遠隔操作化事業は、今まここでしかできなかった。それに挑戦できることがやりがいを感じます。遠隔操作化することで安全な作業環境ができる、それが新たな雇用を生むかもしれません。自分の仕事が、いろいろな可能性を秘めた未来につながっています」



22歳

ラグビー漬けの学生生活。チームマネジメントにも携わる。

23歳

大学卒業後、鈴与に就職。現場監督と積荷のプランニングを経験。

25歳

RTGの遠隔操作化事業を担当。今しかできない新しい挑戦にやりがいを感じる。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



### —学生時代

### —メッセージ

「私は入社後、クレーン・デリック運転士、危険物取扱者乙種4類などを取得しました。入社時に必須となる資格はありません。学生時代に大切なのは、多種多様なモノ・コトに興味をもつことです。そして、知識や経験を得ようとする姿勢。自分から一步を踏み出すごいで一気に世界が広がると思いますよ。世の中は、いろいろなモノ・コトが無限に散らばっています。少しでも興味をもつたものがあれば、それを突き詰めることで知見を広げることができますよ!」

ありがとうございました。



## 幅広く検査をする。

### 音響機器の音の入口から出口まで



平松武将さん(1994年生まれ)

浜松城北工業高校出身

## ヤマハ株式会社

浜松市中区中沢町10-1  
<https://www.yamaha.com/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→音響機器を製造・販売する企業に就職→品質保証に配属

「高校時代、思い出に残っているのは2年生のときに生徒会長を務めたことです。もともと人前に立つのは得意ではありませんでした。が、仲のよかつた先輩や先生の影響で入ることになりました。生徒会の活動を通して、人前に立つ度胸が身についたと思います。また、放送部でラジオ番組を作り、全国大会に出場したこともいい思い出です。電子科の「ースでは、普通科の勉強に加えてプログラミングの勉強もしました。実習では、ハンダ付けの練習など、高校卒業後に即戦力として働ける能力を培うことができたと思います」

## ——仕事について

「高校に届いた求人票のなかに、ヤマハがあり、就職先に選びました。幼稚園のころからヤマハ音楽教室に通ってエレクトーンやピアノを習っていたこともあり、楽器に関わる仕事がしたかったことも決め手になりました」

## 仕事内容を簡単に教えてください。

現在、スピーカー、ミキサー、イヤホン、CDプレイヤーなど、世の中にある前の音響機器の品質保証を担当しています。いろいろな環境で使われることを想定し、たとえば、高い温度や低い温度の場所で音を出してみて、ボタンやボリュームが正常に反応するかなどの試験を実施したり、音響機器が機能通りに動くかを確認することになります。音の入口



から出口まで幅広く検査をします。意識しているのは原音忠実。楽器から出ている音をいじらず、ありのままの音をお客様の環境で再生できるようにすることです」

## 仕事をするうえで、「心がけている」と教えてください。

「完成品の音響機器を分解して機能通りに動くかを確認するので、より慎重に細かいところも見逃さないよう気をつけるようになりました。今年、新しい役職についたこともあり、まわりをよく見るようになり、以前は目の前の仕事だけになりました。以前は目の前の仕事だけで精一杯でしたが、視野を広げて一緒に働く仲間を見るように心がけています」

## ——やりがい

「普段生活をするなかで、ヤマハのイヤホンをしている人とそれ違ったり、スピーカーを使っているお店を見つけたりするところです。実際に使っているお客様の顔が見えたときに、この仕事をしていくよかったです」

「実際に使っているお客様の顔が見えたときに、この仕事をしていくよかったです」



18歳 放送部でラジオ番組を作り、全国大会に出場。

19歳 幼いころから音楽教室に通っていたこともあり、ヤマハへの入社を決意。

24歳 音響機器の品質保証を担当。また、応援団のリーダーとして、ヤマハ野球部の応援に励む。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



## ——学生時代

## ——メッセージ

「音楽に関する仕事が多いので、音楽好きの人には向いている仕事をだと思います。実際に、楽器を演奏していた方や音楽好きの方が多く働いています。オームの法則など電気回路の知識があると検査の仕事を理解しやすいと思います。その後遊べる機会も減ってしまうで、学生時代の友達は大切にしてほしいです。今ある自由な時間を存分に楽しんでください!」

「お忙しいところ、ありがとうございます!」

**お客様の笑顔を作り、  
安心安全な食品を通して、**



なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→缶詰・レトルトパウチなどの食品を製造・加工する企業に就職

**我妻綾**さん(1999年生まれ)

**城南静岡高校**出身  
**静岡産業大学** 経営学部卒業

**山梨罐詰株式会社**

静岡市清水区興津中町974  
<https://www.yamanashi-kanzume.co.jp/>

### ー学生時代

「体操部と検定の勉強に取り組んだことが思い出に残っています。商業科だったので、簿記検定やワープロ検定などの資格を取得しました。検定前は、友達とよく学校に残って勉強していましたね」

**現在の仕事に就いた経緯について教えてください。**

「人と関わる仕事よりも、もくもくと取り組む仕事がしたい」と思い、缶詰・レトルトパウチ製品などを製造する山梨罐詰に就職しました。親が山梨罐詰で働いていたことも大きいです。見学へ行ったときも、楽しそうに話している人もいれば、ひとつのことについている人もいて、働きやすい環境を感じました」

### ー仕事について

「入社後調合の部署に配属されました。取り扱っている材料は、ブイヨン、醤油、唐辛子、カレー粉、小麦粉など、液体や粉物が50種類くらいあります。製造する商品によって配合も変わりますし、材料の種類や置いてある場所など、最初は覚えることがたくさんあって大変でした。でも1年目は、わからぬことがあったらすぐ先輩に聞くことが重要。気軽に相談できる環境だったので、丁寧に仕事を教えてもらいました」

**仕事内容を教えてください。**

「幼児食や介護食など、弊社が製造しているレトルトパウチ製品すべての材料の調合を担当しています。商品に合わせて様々な材料を調合。商品を購入してくれるお客様の存在がモチベーションになります」

### ーメッセージ

「働くうえで必須となる資格は特にありません。社会に出ると、上司や社外の人など、幅広い年代の方と関わる機会が多いです。高校時代に、礼儀やマナーを学んでおいてください。あと、高校生のうちに取得する資格は取得しておいたほうがいいですよ。私は、高校でも大学でも仲のいい友達、頼れる先生がいました。社会に出てからは特に、悩みを相談できる友達や先生の存在はほしいときの支えになります。みなさんも信頼できる友達や先生と出会ってほしいです」

**ありがとうございました。**



### ー今後の目標を教えてください。

「計る材料が多い商品は注意すべき点が多くて大変ですが、ミスのない正確な仕事が速くできるよう経験を積んでいきたいです。目標は、これから後輩ができる先輩になること。後輩に自分の仕事が引き継がれて寧な指導ができる先輩になること。いつたらうれしいですね」

### ーやりがい

「携わった商品がスーパーに並んでいる」と、「私が担当した商品だ!」とうれしい気持ちになります。それを手にとっているお客様がいると、さらにうれしいですね。商品を購入してくれるお客様の存在が、「明日からも頑張ろう」というモチベーションにつながります」



**18歳**

部活と検定取得に熱中した高校時代。様々な検定に合格。

**23歳**

山梨罐詰に就職。材料の調合を担当する。

**24歳**

商品に合わせて様々な材料を調合。商品を購入してくれるお客様の存在がモチベーションに!

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



# 一生懸命取り組んだ先に現れる壁を乗り越える力を身につけてほしい。



横山幹英さん(1998年生まれ)

聖隸クリストファー高校 出身  
愛知学院大学 経営学部卒業

## 浜松市消防局

浜松市中区下池川町19-1  
<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/bosai/shobo/index.html>

なるためには

### ●必要資格 / 特になし

●主な進路 / 高校卒業→大学に進学→公務員試験対策講座を受講→消防職員採用試験に合格→消防学校に入校→各消防署に配属→救助隊として勤務

## —学生時代

「サッカー部に所属し、3年間サッカーに明け暮れる日々でした。部活動して学んだのは、仲間と協力して取り組む姿勢。忍耐力も身につき、心身ともに鍛えられたと思います。消防士をめざしたのは、小学生のときに東日本大震災の中継を見たことがきっかけです。第一線で救助活動に当たっている姿を見て、私たまたま人の命を救いたいという思いが芽生えました。高校卒業後は、愛知学院大学経営学部に進学しました」

**大学時代について教えてください。**

「今も役立っていると感じるのは、組織マネジメントについて学んだこと。組織においてリーダーとしてメンバーをどのようにマネジメントしていくことが効果的なかを学びました。将来、隊長職についたときは、一人ひとりに寄り添つて新人の意見もしっかりと聞き入れ、総合的に判断できる隊長になりたいです。3年次の後半からは、公務員試験対策講座を受講しました。面接から筆記試験、論文まで幅広く対策できたのでとても心強かったです」

**【消防職員採用試験に合格後、半年間、消防学校で基礎を学びます。消防法などの法律や各種資機材についてなどの消防に関する知識、救助ロープの結びや消防ホースの取扱いなどの技術を学びました。中でも私は、ロープを渡つたり降りたりする救助訓練が印象に残っています。もともと救助隊志望で入っていました】**

——仕事について  
【消防職員採用試験に合格後、半年間、消防学校で基礎を学びます。消防法などの法律や各種資機材についてなどの消防に関する知識、救助ロープの結びや消防ホースの取扱いなどの技術を学びました。中でも私は、ロープを渡つたり降りたりする救助訓練が印象に残っています。もともと救助隊志望で入っていました】

——やりがい  
【現場には、要救助者のご家族がいることもあります。まずは要救助者の安全を確保し、落ち着いてご家族を安心させることを心がけています。後日、消防署に本人やご家族が来署してくださいり、「ありがとうございます」という言葉を直接いた

る様々。事故で車に閉じ込められてしまふた人、川で溺れている人など、要救助者や傷病者をいち早く助け出してくれる安全な場所に確保することもできます】

【現場は、河川、道路、火災現場など様々な事故で車に閉じ込められてしまふた人、川で溺れている人など、要救助者や傷病者をいち早く助け出してくれる安全な場所に確保することもできます】

【私は人命救助に特化した特別救助隊として活動しています。出動する2年目から救助隊に配属され、現は必要です。私にとって、それが部活でも、勉強でも、趣味でも何でもいいです。何かに一生懸命取り組んでいました。高校時代は一生懸命力も必ずどこかで壁にぶつかるは頑張るものを見つけてください。私は大学の公務員試験対策講座のおかげで、不安なく試験に臨むことができました。高校時代は一生懸命

## —メッセージ

「まず、各自治体が実施する消防職員採用試験に合格する必要があります。そのための勉強、対策は必須です。

私は大学の公務員試験対策講座のおかげで、不安なく試験に臨むこと



12歳

↓  
18歳

22歳

↓  
25歳

東日本大震災で救助活動に取り組む消防士を見て、憧れを抱く。

大学では経営マネジメントなどを学ぶ。公務員試験対策講座を受講。

現在は、救助隊に配属。いち早く現場に駆けつけ、人命救助に取り組む。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>

